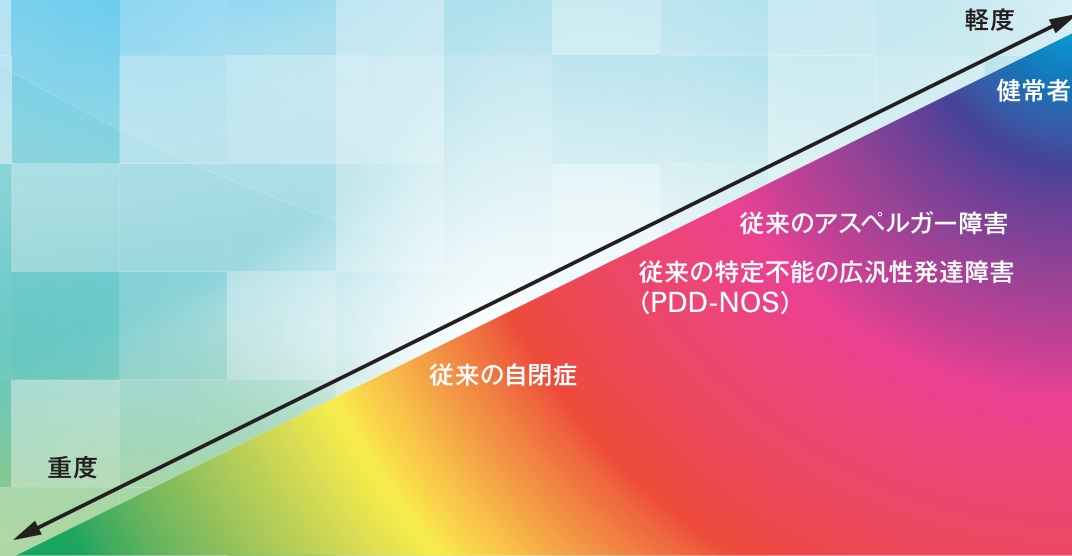


自閉スペクトラム症のイメージ

自閉スペクトラム症では、重度から軽度まで、様々な状態が切れ目なく連続的に繋がっていると考えられている。



主な発達障害とその特徴

自閉スペクトラム症

- ▶ 対人的コミュニケーションの障害：言語の障害（言葉の遅れ、理解の乏しさなど）、非言語的側面の障害（視線を合わせることの困難、身振り手振りの不使用など）
- ▶ 対人的相互反応の障害：他者の考えや感情を読み取ったりする能力（心の理論）の欠如
- ▶ 常同的または反復的な行動様式：物事へのこだわりの強さ

学習障害

- ▶ 文章読解や意味理解の困難
- ▶ 書字の困難
- ▶ 数字の理解や計算の困難

注意欠如・多動症

- ▶ 不注意優位型：集中すべき活動への注意困難、注意の持続困難、指示を守ることの困難、忘れ物やスケジュール管理の困難など
- ▶ 多動・衝動優位型：じっとしていなければならない場面でも動いてしまう多動症状、自分や他人の害となる性急な行動のコントロール不全といった衝動症状
- ▶ 混合型

発達障害（神経発達症）は、小中学校やそれ以前の発達期に発症し、個人的、社会的、学業における機能の障害をもたらす。発達障害は非常に広範な概念であり、自閉スペクトラム症、注意欠如・多動症、学習障害などが含まれる。特に、自閉スペクトラム症に見られる「心の理論」の障害は、私たちの心の働きについて考えていく上で示唆に富む。ここでは、それぞれの障害について見てみよう。

◆自閉スペクトラム症

自閉スペクトラム症は、おそらく最もよく知られている発達障害であり、かつてアスペルガー障害や自閉症と言われた障害を含む、連続体（スペクトラム）の概念である。自閉スペクトラム症は、対人的コミュニケーションや対人的相互反応の障害、常同的または反復的な行動様式を中核的な症状とする。多くの場合、自閉スペクトラム症には知能の障害が伴う。知能の障害が伴わないケースは、かつてアスペ

ルガー障害と呼ばれていたものである。対人的コミュニケーションの障害において、症状の表れ方はかなり多様であるが、多く見られるのは言語の障害である。例えば、言葉の遅れや理解の乏しさ、または過度に紋切り型なしゃべり方がしばしば見られる。非言語的な側面においても、他者と視線を合わせることの困難や、身振り手振りの不使用、発話の抑揚のなさなどの特徴がある。また、対人的相互反応では、他者の考えや感情を読み取ったり共感したりする能力の欠如が見られる。

このような他者の心の状態や意図を推測する機能を「心の理論」と呼ぶ。心の理論を測定する代表的な課題に、サイモン・バロン＝コーエンらが開発した「サリーとアンの課題」がある（→024）。この課題はサリーとアンがともに遊んでいる様子から始まり、次に、サリーが宝物のビー玉をかごの中へ入れて部屋から出ていく。続いて、サリーのいない間にアンはそのビー玉を別の箱へと移す。その後、サリー

が部屋へ戻ってきたときに、サリーはビー玉を見つけるためにどこを探すかを問う課題である。この課題の正解は「かごの中」である。なぜなら、サリーはアンがビー玉を別の箱へと移したことを知らないからである。通常は4～5歳頃からこの課題に正答するが、自閉スペクトラム症の多くは「箱の中」と誤答してしまうことが明らかとなっている。

常同的、反復的な行動様式は、物事へのこだわりの強さを表している。自閉スペクトラム症では、興味や活動が非常に限定的になりがちである。また、常に手をたたいているなど、同じ行動の繰り返しがしばしば見られる。

◆注意欠如・多動症、学習障害

注意欠如・多動症は、不注意優位型と多動・衝動優位型、そしてその両方を含む混合型に分類される。不注意優位型では、学業などの集中すべき活動への注意困難、注意の持続困難と注意の持続を要する課題の回避、指示を守ることの困

難、忘れ物やスケジュール管理の困難が見られる。多動・衝動優位型では、じっとしていなければならない場面でも動いてしまう（例えば、席を立つ、走り回る、手足をそわそわと動かす）という多動症状と、自分や他人の害となる性急な行動のコントロール不全といった衝動症状が見られる（例えば、他人の邪魔をする）。

学習障害（限局性学習障害）は、知的能力が保たれているにもかかわらず、学習の特定の領域に著しい困難が生じるものである。文章読解のスピードの遅さや意味の理解困難、書字の困難（書き間違いや文法の間違い）、数字の理解（足し算のような概念が理解できない）や計算の困難が挙げられる。

このように、発達障害には様々な機能障害が存在する。発達障害について詳しく知ること、いかに私たちが複雑な情報処理を日常的に行っているか、ということがわかってくる。発達障害に見られる機能障害は、私たちの心の多様性を知る手がかりでもあるのだ。（松本 昇）